



平野高校の活性化に思う

旧職員 久保 元嗣

私は、平成8年度から17年度までの10年間、平野高校に勤務させて頂きました。

赴任当時の平野高校は、午後3時半頃になると生徒の姿も疎らで、テニスコートやグラウンドのあちこちに雑草が見受けられ、その中で数人が細々と部活動をやっている状態でした。

その後、コース制の導入・制服の改訂・ビオトープの制作・部活動の奨励・放課後の補習・恵我小学校・幼稚園などとの連携等々、活性化に向けた様々な取り組みがなされ今日に至っています。

平野高校の繁栄は、過去を支えてきた先人の苦勞と、これからそれらを支え続ける現場の教員の努力次第です。放課後、生徒が居着く学校・卒業生が自分の出身高校名を聞かれたとき、胸を張って「平野高校です」と答え得るような学校であるために更なる努力をお願い致します。



25期生

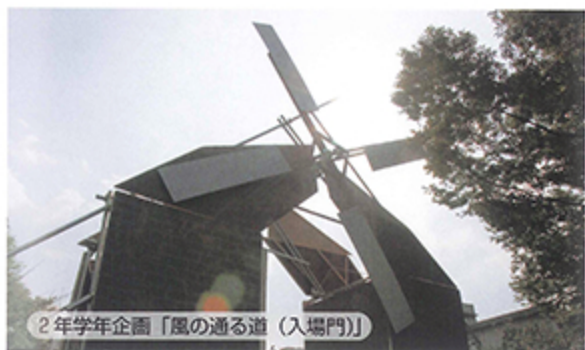
平野高校
Anniversary 30th

2004.4~2007.3





文化祭



2年学年企画「風の通る道（入場門）」



25期生卒業記念 移動式音響機器

30周年に寄せる思い

旧職員 道旗 秀人

平野高校には12年間在職しました。これは私の40歳代とほぼ重なっています。平野高校ではまず、現場で通用するものは現場で自ら手にいれるほかない、ということを感じました。これは書籍に指標を頼ることの多かった私には良い学びの機会でした。また、色々と難しいことが現場ではあった訳ですが、それを乗り越える人の和が、そこにはありました。こんなに素晴らしい人の和は、他校にはそうはないだろう、といつも思っていました。また、周りの先生方が、皆さんその個性を最大限発揮しあって生徒に対しておられました。その様子など、今はどれも懐かしい思い出です。

平野高校の情報教育

旧職員 鱈 研志

平野高校30周年おめでとうございます。私が平野高校に転任した当時は、情報教室にDOSの機器が入っていて、ワープロソフトを使った文書処理やBASICを使った情報処理の授業をしていました。

その後、WindowsOSの機器に更新され、授業内容も、インターネットやオフィスソフトを使ったものになりました。情報教室のほか、図書館にもインターネットのできるパソコンが導入され、昼休みに利用できるようになった生徒が、毎日のように利用しに来たのが思い出されます。

26期生

平野高校
Anniversary 30 th

2005.4~2008.3



入学式



宿泊研修



体育大会



授業風景

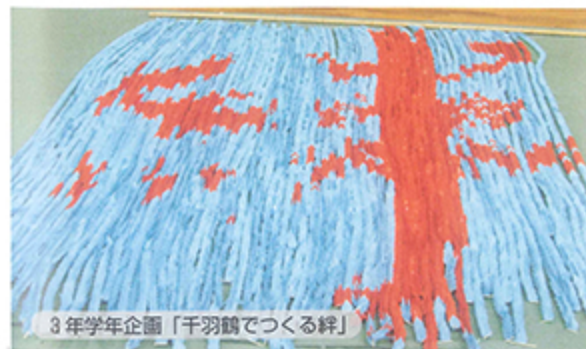


修学旅行





文化祭



3年学年企画「千羽鶴でつくる絆」

平野高校に寄せる思い

旧職員 杉尾 哲

創立30周年、おめでとうございます。平野を出て2年、外から見た今の思いを書きます。「事業を始めることと、できあがった事業を守って失わないようにするのは、どちらが困難か」、当然どちらも大変で違った困難があります。ただ、過去の経緯を忘れず、時代に取り残されず、そして“眼の前の生徒のために”何をすべきか。私たち（生徒も教員もOBも）はしっかりとそのことを見つめ続けることができれば、と願います。最後に、平野で出会ったみんな、元気でやっていますか？また会いましょう！

26期生との思い出

旧職員 松本 太郎

2007年の体育大会、様々なトラブルでうまくいかなかった団対抗リレーと閉会式。生徒たちと悔し涙を流し、先生方とも痛みを分かち合い……。そんなことを通して「平野高校っていい学校やなあ」と感じたことをよく覚えています。26期生の皆さんは、あの体育大会を通して、さらにたくましく成長したように思います、そして、「ありがとう」と「ごめんなさい」という2つのコトバのオモサも感じた出来事でした。

色々なワガママに付き合ってくれた同僚や先輩方。そして26期生のみんな。ありがとうございました。最後に中国語の名言を送ります。

車、山前に到りて、道、必ず有り

27期生

平野高校
Anniversary 30 th

2006.4~2009.3



入学式



宿泊研修



授業風景



体育大会



修学旅行



生徒諸君に教わったこと

旧職員 信岡 博司

平野高校では、担任とは異なる立場から、生徒諸君に話をする機会が多かった。個別に話をするのは、放課後に行われる遅刻指導の時である。

「指導」を名目として、生徒と話をする。1組のAは、今日は朝から様子が何かおかしい等と、前もって、生徒の様子が情報として入ってきている。

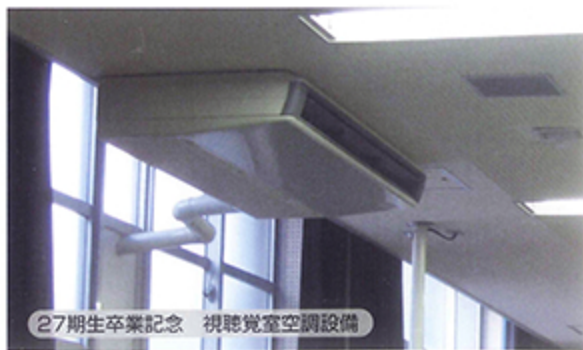
長時間、膝突き合わせて生徒と話をする中で、成る程と腑に落ちる事がしばしばあった。時間はかかったが、その分、より多く生徒のことを理解できたような気がしたものだ。



3年学年企画「ゲルニカを彫る」



文化祭



27期生卒業記念 視聴覚室空調設備

28期生

平野高校 2007.4~
Anniversary 30th



合格発表



宿泊研修



1年遠足



体育大会



体育大会



修学旅行





頑張っている28期生

学年主任 岡本 康弘

30人学級を始めて2年目の学年である。放課後に生徒を残しての話し込みや家庭との連絡を密に取ることで第2学年が始まる頃には生徒間に落ち着いた雰囲気定着してきた。

1月に行った信州志賀高原でのスキーと東京ディズニーランドへの修学旅行は、生徒が自ら率先して行動できるようになっていたのも、教員にとっても生徒にとっても非常に楽しい充実した行事となった。第3学年に進んでも落ち着いた環境で学習する事が出来たので環境コースで取り組んでいる丙種危険物取扱者試験の合格はもとより本校で初めて乙種危険物取扱者試験へも合格者を出すことが出来た。また、進路の面でも公募推薦で近隣の有名大学へ合格、高等看護学校へも合格者を出すことが出来るようになってきた。



2年遠足



文化祭

29期生

平野高校 2008.4~
Anniversary 30th





総合学習「弁護士さんに聞いてみよう」



修学旅行



文化祭

30人学級維持のために

学年主任 森 淳一

29期生は27・28期生が6クラス募集（240人）を8クラスに展開し30人学級を進めていたのが、7クラス募集（280人）に変わり、30人学級を続けるかどうかという議論から始まりました。そして30人学級を続けるために9組を同じ階に作ることになり、4F職員室と地学準備室を改造して1年9組と1年職員室を新たに作り直しました。

新入生を迎える準備をしながら、新しい職員室の荷物の移動や整備などでせわしない中で入学式を行い、すぐに串本の宿泊研修に向かいました。新入生を迎える時はいつも大変ですが、この時は特に忙しく今から考えると毎日のように掃除や片付けばかりしており、このことが一番印象に残っています。

来年、3年生になって就職がきびしい中、自分たちの進路をしっかりと考えて良い結果を残してほしいと思っています。



30期生

平野高校 2009.4~
Anniversary 30 th





30期生に寄せて

学年主任 西内 えり子

30期生は、近年まれに見る高倍率の入試を通して入学してきました。学力も高く、目的意識のはっきりとした生徒が多くいます。クラブ活動への参加率が高く、休部状態だったクラブが復活し、各種の大会などですばらしい成果をあげつつあります。学校行事に対しても前向きに取り組むことができ、体育大会や文化祭が活気ある華やかなものになってきました。30期生は、学校全体により意味での勢いをもたらしてくれています。

大学や専門学校への進学を目指す生徒や、こういう職業につきたいといった具体的な目標を持っている生徒が多く、日々の学習に真剣に取り組んでいます。

この一年で、高校生活の基本的なルールを学び、平野高校の生徒としての自覚が芽生えた30期生ですが、来年度からは平野高校の中心的学年として、学習に、クラブ活動に、学校行事にと活躍してくれることでしょう。



文化祭



環境コース

平野高校
Anniversary 30th





稲刈り



餅つき



リースづくり

ビオトープと共に歩む

旧職員 藤原 大

創立 30 周年、おめでとうございます。私は平成 13(2001)年より 8 年間、お世話になりました。着任した頃は環境コースがスタート、ビオトープが着工したばかりで、授業もビオトープも試行錯誤の連続でした。特にビオトープは、計画時、完成には一千万円程度必要と見積もられました。到底そんな予算が見つはずもなく、環境コースの授業・生徒指導の一環として、そして教職員にも協力していただき計画が進みました。ビオトープは生き物の棲息する場所です。人間の都合だけが幅を利かすことなく、平野高校のビオトープが、そして平野高校全体がこれからも益々発展することをお祈りしています。



脱穀





幼稚園ボランティア



幼稚園との陶芸交流会



聴覚高等支援学校との共同学習

人間専門コースについて

旧職員 上田 尚司

30周年おめでとうございます。さて、私としては、人間専門コースの担当として仕事をさせてもらったことが何より印象深いです。生徒に社会福祉に関わる多様な体験をしてもらい、「福祉マインド」を育ててほしいというのがコースのスタッフの共通の思いでした。

それを少しでも実現するために、様々なプログラムを用意すべく、多くの人たちと苦楽をともにした日々は、自身の教員生活の中で忘れがたい意味をもつだろうと感じます。

平野高校とともに、これからの人間専門コースの発展・充実を願っています。



ホームヘルパー2級講座修了式



クリスマス交流会

体育大会

平野高校
Anniversary 30 th





文化祭

平野高校
Anniversary 30th





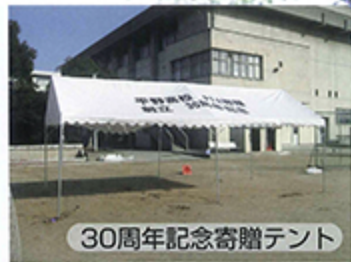
PTA活動

平野高校
Anniversary 30 th



陶芸教室





PTA料理教室



ピオトープの藁を使った
クリスマスリース・
しめ縄作り



クラブ活動

平野高校
Anniversary 30th



バレーボール部



空手部



硬式テニス部



剣道部



水泳部



バドミントン部



ヨーヨーアジア
大会3位
高松ジョージ



野球部



スポーツ
クライミング部



陸上部



バスケットボール部



ハンドボール部



ソフトボール部



サッカー部



放送部



吹奏楽部



漫画文芸部



書道部



自然科学部



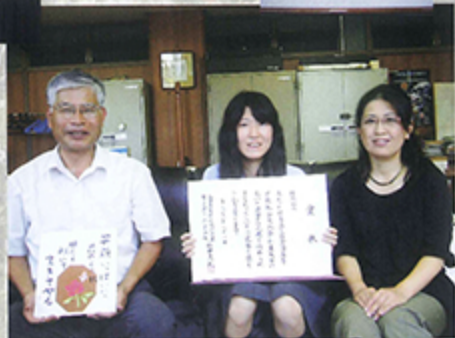
茶道部



軽音楽部



写真部



コーラス部



コンピュータ部



演劇部



美術部



校内風景

平野高校
Anniversary 30 th





創立30周年記念 サブグラウンド



30周年記念 車いす用スロープ



30周年記念 本館エレベーター



30周年記念 HR教室の液晶TV



創立20周年記念 藤樹



陶芸教室 電気窯



1期生 卒業記念



進路指導室

スクールライフ

平野高校
Anniversary 30 th



教室で



通学風景



図書室



食堂で





授業風景





編集後記

平野高校のこれまでの取り組みと今の様子を熱く語り、今後の発展に結びつけたい。そんな思いで編集に携わってきました。一年以上前からの取り組みが今ようやく一冊の本に集約されたことに喜びを感じています。特に、今回20期生までの部分については20年誌の“復刻版”という形式で思い出の記事や写真を取り入れさせていただきました。そして30周年で平野が大きく前進した証として将来へ大きく翔く記念誌となってくれと確信しています。

この場をお借りして、今回ご協力いただいた多くの方々に深く感謝を申し上げます。

今後とも平野高校の応援団として熱い声援を送ってくださることをお願いいたします。

現職員 坂本・山崎

発行 大阪府立平野高等学校
〒547-0014
大阪市平野区長吉川辺4丁目2番11号
TEL.072-334-7400 FAX.072-334-7439

編集 大阪府立平野高等学校
30周年記念誌編集委員会

発行日 平成22年 3月15日

印刷 株式会社 ひかり工房



平野高校
Anniversary 30 th

